

JAPAN BASKETBALL STANDARD 2021

ENERGIZING JAPAN WITH BASKETBALL



1. はじめに
2. JBSの理念
3. 創りたい未来・ビジョン
4. ロードマップ・目標(2030/2024)
5. 戦略領域
6. 目標達成に向けて

1. はじめに

「JAPAN BASKETBALL STANDARD」(JBS)は、日本のバスケットボールの未来を輝かせるために、日本のバスケットボールに関わる全ての人々が、1つの理念に向かい、1つのチームとして、持つべき「志」、目指すべき「目標」、行うべき「行動」を示したものです。

2016年4月、2030年のJBA設立100周年に向けて、日本のバスケットボール界が1つのチームとなって目指していく指針を示すために、「JBS 2016」を策定いたしました。その指針の下、B.LEAGUEの開幕・男女日本代表の五輪出場、NBAへのドラフト・本契約選手たちの活躍、審判・指導者の増加等、日本のバスケットボール界はこれまでにない、想像以上の発展を遂げることができました。この成果は、都道府県協会、B.LEAGUE、W LEAGUE、各種連盟をはじめとした多くのバスケットボールに関わられる方々の強い想いが、同じ方向性に向かい、不断の努力とご協力をいただけたことによるものだと確信しております。

しかし、日本のバスケットボールが目指す「バスケで日本を元気に」できる存在には、まだまだ達しておりません。世界のバスケットボールや日本の他スポーツとの間には競技力・人気の面で大きな差があります。また、少子化や働き方改革等日本を取り巻く課題に日本のバスケットボール界も直面しており、さらに新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻なダメージを受けております。そのような状況を乗り越え、「JBS2016」で定めた指針以上に力強い成長が求められております。

このような状況の中、JBAとしては、日本のバスケットボールの持続的、かつ、更なる成長を遂げるために、「JBS2016」を見直し、達成できたこと、できなかったこと、を踏まえ、進化させた指針として「JBS2021」を策定いたしました。

ここに描いた目標を現実のものとするためには、大きな力が必要です。JBAは、B.LEAGUE／W LEAGUE／都道府県協会／各種連盟等 / パートナー、全てのバスケファミリーの皆様と今後更に連携を強化し、より良い日本のバスケットボールの未来を作り上げてまいります。

2 理 念



この言葉には、「日本中でバスケットボールを楽しむ人が増え続けること、その人達がバスケットボールを楽しめる環境が充実していくこと、そしてその中から日本代表選手が生まれ日本人選手が世界で活躍すること、それが日本社会を元気にしていくこと」、こんな気持ちが込められています。

単にバスケットボールという競技が盛んになるというだけでなく、競技者、指導者、審判、運営、愛好者、パートナーなどすべてのバスケファミリーの生活が豊かになることで、その周りにいる家族や友人、地域コミュニティなどすべての方を「元気」にするために、現状に満足することなく未来に向けてあらゆる壁を乗り越えて挑戦していきます。

3. 創りたい未来・ビジョン

3-1 創りたい未来

「バスケで日本を元気に!」に込められた未来



- 日本全国がバスケで熱狂する
- 世界で活躍する選手を誇りに感じる
- オリンピックでの躍進
- 世界に誇れ、日本を元気にするナショナルアリーナがある

- 地域がバスケで元気になる
- 地域のアリーナが地域活性の起爆剤になる
- どこでもいつでもだれでもバスケを楽しめる環境がある
- 地元のクラブや選手の活躍が遠くにいる地元出身者の誇り・元気になる



- 子供も大人もバスケを存分に楽しめる
- お父さん・お母さんもおじいちゃんおばあちゃんも子供(孫)の笑顔を見て元気になる
- 選手だけではなく審判・コーチも子供の夢になる

- 日本バスケ界の人材が世界バスケを盛り上げる
- 日本バスケ界が社会課題の解決・SDGsの実現に貢献する
- バスケ界で女性が活躍している



JBSはこの未来を創るための指針

3. 創りたい未来・ビジョン

3-2 ビジョン

SMILE / STAR / DREAM / TEAM が溢れる未来

SMILE

最も笑顔を生み出すスポーツNo.1となり、バスケを通じて生まれた笑顔が日本に活力を与える世界

STAR

世界に通じる魅力を有するスター選手を10人以上出し続け、日本中が世界へのチャレンジにワクワクする世界

DREAM

世界に誇る「バスケで魅了する夢の都市」が47都道府県に存在し人々・文化・経済が活性化された世界

TEAM

「憧れの業界No.1」として、バスケに関わる人々が互いにリスペクトし、イノベーションを生み、世界で活躍している世界

「バスケで日本を元気に!」を理念とする日本のバスケットボール界が創りたい未来の実現に向けた4つのビジョンを改めて掲げます。

『 SMILE 』

- バスケを「する・みる・ささえる」人々が心の底からバスケを楽しみ、熱くなり、そして笑顔になる。そのような方々が地域やコミュニティーを元気づけ、日本全国が笑顔になる。

『 STAR 』

- 世界で通じる競技力・人間力を有する選手を多く輩出し、その活躍を見た全国の方々がわくわくする、自信を持つ、「自分も!」とチャレンジし続ける。

『 DREAM 』

- 多くの方々がバスケを楽しめる、夢のアリーナを中心にバスケが広がり、交流・関係人口が広がり、地域が活性化する。バスケを通じてSDGsの達成が実現されている。

『 TEAM 』

- バスケに関わる人々がイキイキとし、新たなチャレンジを続け、互いにリスペクトしあうことでイノベーションが生まれる。バスケ以外の業界でも活躍している。

4. ロードマップ・目標(2030/2024)

4-1 ロードマップ

JBAが掲げる「JAPAN BASKETBALL STANDARD」は2030年までの指針であり、達成すべき目標(2030 GOAL)を掲げております。その指針において「JBS2021」には、JBSの第2フェーズの指針となり、そのフェーズで達成すべき目標(2024 GOAL)と戦略的に取り組む領域(戦略領域)を定めます。JBAは、2030年のJBA100周年をターゲットに、B.LEAGUE、W LEAGUE、都道府県協会、各種連盟、パートナーなどバスケファミリーの皆様と共にこの目標を達成していきます。



4-2 目標(2030 GOAL)

ビジョンを実現していくための目標にはJBA100周年となる2030年までに私たちが特に推進していくべき項目を掲げました。目標を、定量的で具体的に設定することにより、今後、バスケファミリーが進むべき方向、達成すべき内容が明確になり、それがこれまで以上に日本バスケットボールの成長スピードを高めていくことを可能にする、と考えています。

ビジョン	目標 (2030 GOAL)
SMILE	「する」「好きな」スポーツNo.1 「観る(来場・視聴)」スポーツとしての3位以内
STAR	- 海外で活躍するレベルの選手 10名以上(男女それぞれ) - オリンピック連続出場・決勝トーナメントでの躍進
DREAM	- 夢のアリーナの整備(15か所以上) - 国際大会誘致と日本中での盛り上がり
TEAM	- バスケ事業規模 600億円(プラス成長維持) - 働きたいスポーツ界 No.1

4. ロードマップ・目標(2030/2024)

4-3 目標(2024 GOAL)

「JBS2021」で定める目標(2024 GOAL)は日本のバスケットボール界が目指す2030年の目標のマイルストーンとなります。2030年の目標はバスケットボールに関わる全ての方々の目標であるのにたいし、2024年の目標はJBAが旗振り役となり、B.LEAGUE、W LEAGUE、加盟団体とそれぞれの領域で達成に向かい進んでいく必要があります。

「JBS2021」の2024年目標はJBAが旗振り役となる日本バスケットボール界の3つの領域と、2016年の開幕以来、急成長を遂げるB.LEAGUEの目標をそれぞれ明確に定めることで、その達成に向かいます。

2030 GOAL	2024 GOAL			
	JBA			B.LEAGUE
	日本代表	普及育成	成長領域※	
SMILE 「する」「好きな」スポーツNo.1 「観る(来場・視聴)」スポーツとしての3位以内	・代表認知度の向上	・登録者 80万人	・成長計画策定及びスタート(事業化準備) ・ガバナンスコードの浸透	・入場者 350万人 ・視聴文化の確立
STAR - 海外で活躍するレベルの選手 10名以上 - オリンピック連続出場・決勝トーナメントでの躍進	・海外で活躍できるレベルの選手 10名 ・Paris2024出場、上位進出 ・LA2028出場のための強化	・世界で活躍できる選手輩出に向けた整備 ・部活動/B.CLUB/街クラブ一体型の大会整備		・ユース(U18&U15)環境整備
DREAM - 夢のアリーナの整備(15か所以上) 2029年男子アジアカップ・2030年女子World Cup招致	・国際大会招致(含む2023 沖縄予選成功)			・将来構想具体化 ・社会的価値向上
TEAM 働きたいスポーツ界 No.1	・事業規模 拡大	・事業領域拡大		・事業規模 370億円

5 戦略領域

日本代表

2024 GOAL	戦略領域		領域目標
男子：視聴率 20%以上 女子：会場満員	代表戦興味喚起	日本代表ブランディング戦略の設計・推進	代表戦興味 60%
		代表選手プロモーション	代表選手認知率 60%以上
		代表ファンベースの拡大	代表ファン100万人
	代表戦価値向上	日本代表の戦略的マッチメイク(事業面) JBA主管試合増・親善カップ戦組成	男女各10G/Y
		国際バスケットボール界における地位向上	FIBA ASIA理事/スタッフ
		代表戦のエンタメ性等の価値向上(ショーケース化)	代表戦興味 60%
海外で活躍する選手 10名	代表強化	JAPAN'S WAY 推進(浸透と実践)	国際ランキングアジア1位
		海外在住日本国籍エリート発掘・育成	海外で活躍する選手 10名
		強豪国とのマッチメイク	男女各10G/Y
		※国際バスケットボール界における地位向上	協定国 6か国
事業規模拡大	顧客開拓	新規開拓&顧客満足度向上	
	新規商品開発	JBA主管試合増・親善カップ戦組成	男女各10G/Y
Paris2024出場		日本代表(B代表・Over 20)国際試合経験値の蓄積	国際ランキングアジア1位
		JAPAN'S WAY 推進(浸透と実践)	国際ランキングアジア1位
LA 2028出場のための強化		ユース日本代表の国際試合経験値の蓄積	U16/17 A杯 4位以内
2029男子Asia Cup	実績	2023沖縄予選成功	国内試合全試合満員
国際大会招致	国際ポジション	※国際バスケットボール界における地位向上	

5. 戦略領域

5 戦略領域

育成普及・成長領域

2024 GOAL	戦略領域		領域目標
登録者プラス成長の維持	登録範囲の拡大	登録対象と登録の仕組み構築 登録の定義/情報発信含め	登録者 80万人 競技者人口
	する環境整備	既存大会の再設計／新規大会の創設	のベプレイ時間増→立ち上げ
		リーグ文化の醸成(アンダー中心)	
		あらゆる年代層のプレー環境の整備・提供	モデルケース20カ所→立ち上げ
		環境整備(toto普及振興予算の活用) ※含む屋外ゴール	
	支える人の増加	審判ライセンス制度の整備・推進	7万人
		指導者ライセンス制度の整備・推進	8万人
		TO制度・スタッツの整備・推進	国内ライセンス導入
		エージェント・移籍・登録に関する規程	制度の確立
	First sport推進	暴力・暴言の排除	体制構築
子供向けプロモーション		体育指導要領掲載	
教育現場(学校体育)へのアプローチ			
グラスルーツ実施(PBA支援、BCLUB協働)		30地域での活動実績	
世界で活躍できる選手輩出に向けた整備	育成基盤(底上げ)	キッズインストラクター普及推進	
		年代別育成方針の確立・徹底	
	育成(エリート)	育成・強化システムの制度面整備(Bユース)	
		タレント発掘システム/エリート選手養成制度	
新規顧客開拓	U22ーU18強化推進		
	バスケ版JYD事業の発足	50MJPY	
Winter Cup			
認知率向上	認知興味喚起	Winter Cup プロモーション	視聴率向上
		Winter Cupファンベースの拡大	100万人
事業規模 4億円達成 ☆B.CLUB/街クラブ/部活動一体型の大会整備 成長領域	顧客開拓	スタッツ等 選手情報プラットフォーム整備	-
		新規開拓(パイプラインマネジメント)	事業領域・規模拡大
	新規商品開発	予選の権益化(都道府県予選要綱)	統一フォーマットの実現
			大会整備
事業成長計画策定及びスタート - 事業化準備 - ガバナンスコード対応	3x3	3×3の普及促進	計画策定・推進
		3×3日本代表強化システムの確立	計画策定・推進/NFランクTOP4
		代表権益商品化	計画策定・推進
	WJBL	各種連盟の組織整備・連携強化	計画策定・推進
	JSB (社会人連盟)	各種連盟の組織整備・連携強化	計画策定・推進
	JUBF (大学連盟)	各種連盟の組織整備・連携強化	計画策定・推進
	障がい者バスケ連盟	各種連盟の組織整備・連携強化	計画策定・推進

5. 戦略領域

5 戦略領域

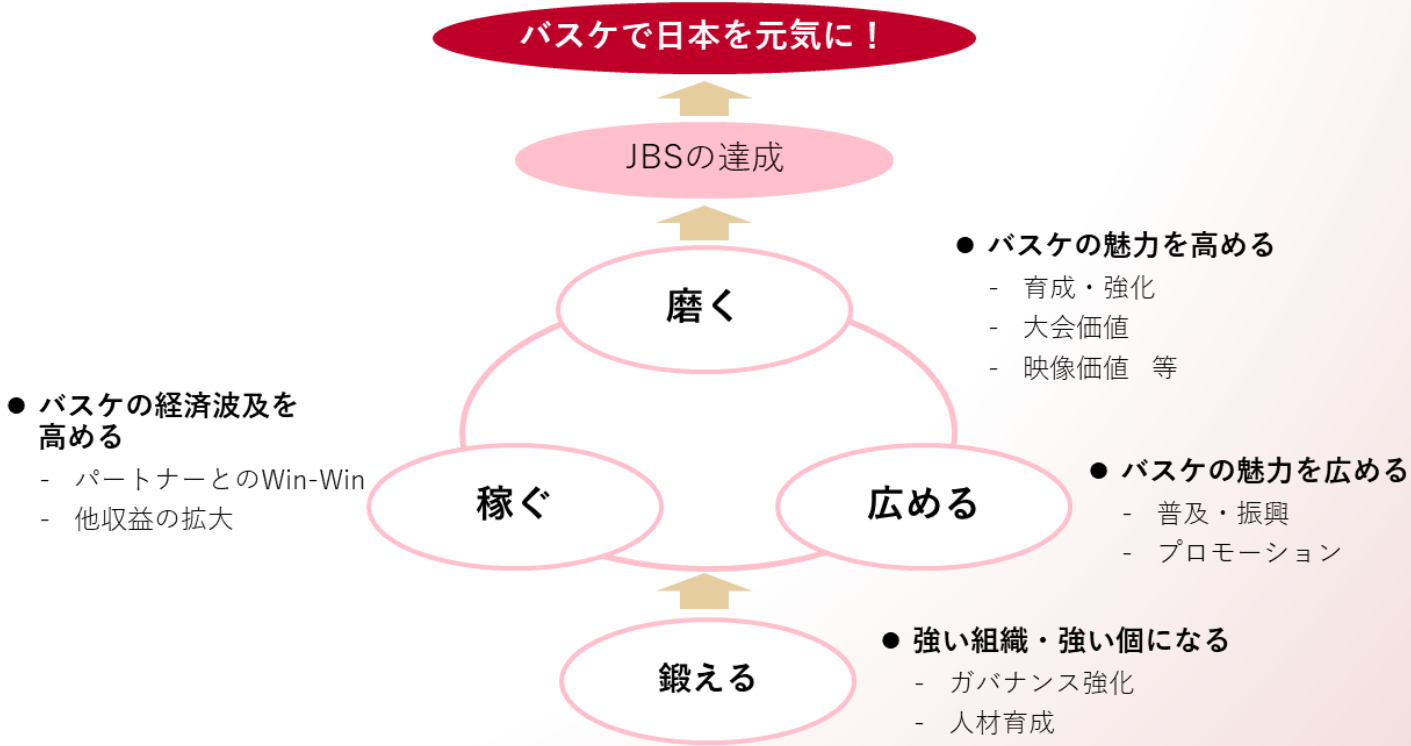
B.LEAGUE領域

2024 GOAL	戦略領域		領域目標
全試合履行/事故ゼロ	安定開催	コロナ対策の徹底	・ 全試合履行
入場者 350万人 視聴文化の確立	認知興味喚起	・メディアミックスによる10-40代スポーツ関心層の興味喚起 ・ライトリード獲得（YouTube視聴数など）	・ 対象世代興味（10-40代）40%
	新規来場促進	ナレッジシェア強化（経営指南書ブラッシュアップ）	
	ファンロイヤリティUP	PFの改善/活用促進	・ ユーザビリティ改善
	興行品質向上	ナレッジシェア強化	
	視聴体験向上	映像リッチ化/コストダウン	
社会的価値向上 （SR活動認知15%以上）	SR活動	クラブ活動露出強化	
	コンプライアンス	パワハラ・インテグリティ研修キックオフ	・ パワハラ・コンプラ案件「0」
クラブ経営強化 （クラブ事業規模 300億円）	収益成長	安定経営＆ナレッジシェア強化	
	コスト削減	業務DX（働き方改革）	・ 生産性20%UP
将来価値の育成	将来構想推進	将来構想具体化＆機運醸成＆官公庁 など連携強化（含むアリーナ）	
	ユース環境整備	U15/U18 大会＆環境整備	・ 年間公式試合10試合以上 ・ U15／U18規程の全クラブ遵守
	国際マーケット開拓	アジア市場の開拓・事業創出	・ 収益化
リーグ収益 （リーグ事業規模70億円）	パートナー協賛	新規顧客ネットワーク開拓/満足度向上（アクティベーション強化）	

6. 目標達成に向けて

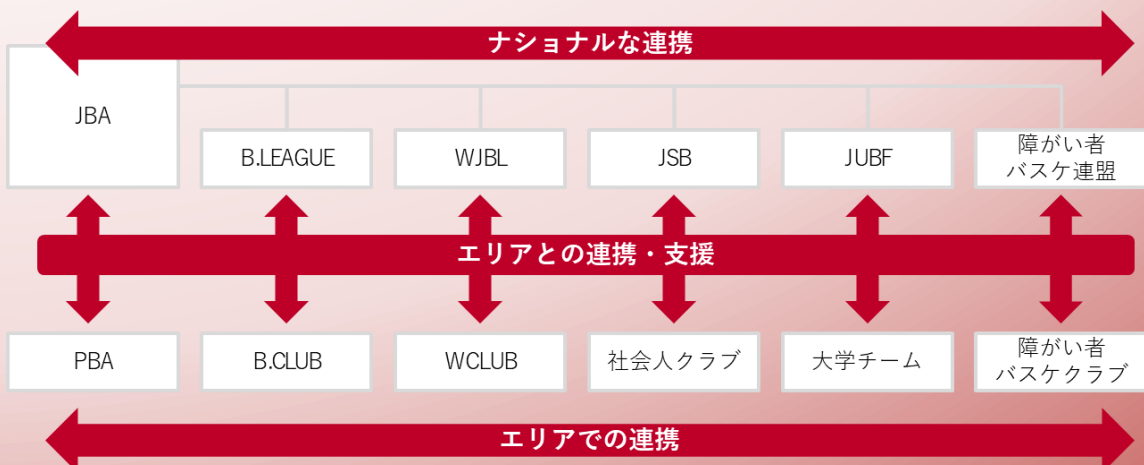
6-1 強い個の連携

「JBS2021」の目標達成のためには、バスケの魅力を「磨く」、その魅力を「広める」、そのために「稼ぐ」、そして、それぞれの機能の個を「鍛える」ことで強くなり、互いにリスペクトしながら計画を推進することが不可欠です。



6-2 ALL BASKETBALL

「JBS2021」の目標達成のためには、JBAが強いリーダーシップを発揮し、ゴール達成に向けて加盟団体が邁進できる、連携できることが不可欠です。B.LEAGUE／W LEAGUE／都道府県協会／各種連盟等、全てのバスケファミリーの皆様の活動をしっかりサポートしてまいります。





SMILE STAR DREAM TEAM